

川崎市バス事業経営問題検討会
第5回会議資料

参考資料

平成25年8月9日

川崎市交通局

今後の収支見通しの前提条件

	主な項目	設定条件
収入	乗合乗車料収入	平成25年度予算額で推移
	高齢者外出支援乗車事業	} 平成25年度予算額で推移
	特別乗車証	
	川崎市ふれあいフリーパス	
	貸切乗車料収入	平成25年度予算額で推移
	行政路線補助金・公共施設接続路線負担金	ステージアップ・プラン(平成21年度～平成25年度)における金額と同額で見込む。
	基礎年金拠出金・共済追加費用補助金	各年度個別に算定
費用	人件費(退職手当以外)	現在の運行体制の維持に必要な人員(全職種計640人程度)で試算
	退職手当	支給水準の見直しを反映の上、平成25年4月現在の在籍人員から試算
	管理委託料	委託営業所数を2営業所で据置き。毎年度、人件費の昇給相当分の増加を見込む。
	燃料費	1ℓ=110円[税込]で推移
	減価償却費	各年度個別に算定

※ その他の項目は、平成25年度予算額で推移

【収支見直し上のポイント】

- 地方公営企業会計制度の見直し(平成26年度～)
- 退職手当支給水準の見直し(平成25年度以降[1人平均 約400万円減])
- さらなる軽油価格の増嵩(1ℓ=110円[税込]で推移)
- 正規職員の計画的採用及び再任用職員の活用(平成26年度～)
- 営業所の老朽化に伴う建替えを想定(次期経営健全化計画期間内に1箇所)
- 労働の生産性の向上など、さらなる経営改善を推進(約1億円/年)